

広 報

おおの10月号

令和6年(2024年) NO.952

越前大野
七間朝市

目次

- P2 特集 400年続く朝市の「今」
- P8 第45回九頭竜紅葉まつり
- P9 星空保護区®認定から1年



特集 400年続く朝市の 「今」

本市の原風景の一つ「七間朝市」。その歴史は古く、天正3年（1575年）に大野城主となった金森長近公が城下町を整備し、その中心に位置する七間通りを繁栄させるため「市」を開かせたことが起源だといわれています。

それから400年以上の年月が流れ、私たちの生活様式は大きく変わりました。近年のコロナ禍では、外出することすらままならない日々が続きました。

このような現状でも、各々の思いを抱き出店する人や足を運ぶお客さん、「市」を残そうと奮闘する人たちがいます。

今回の特集では、そんな七間朝市の「今」を取り上げます。前半では、朝市の出店者の皆さんの声を届けます。後半では、新しい「市」の形を模索する有志団体と、ある一人の青年に焦点を当てました。

先人たちがつないできた市民の台所― 今回の特集を通して400年のその先を考えます。



①「七間朝市」の文字を背負う出店者／②③出店者とお客さんの世間話も朝市の風景の一つ／④側溝のふたに描かれた朝市の風景。市民にとってなじみのある一コマ／⑤並ぶのは、朝市ならではの新鮮野菜／⑥⑦野菜だけでなく、パンや魚が並ぶことも



七間朝市の現状

「おはようございます」

通りを歩くと4人ほどの朝市の出店者の皆さんが、観光客や地元の人たちに声を掛けていました。季節などで変動

はありますが、平日は3、4人ほど、休日は10人ほどの出店者数というのが七間朝市の現状です。ページ下のグラフが示すように、朝市出荷組合の組合員数は年々減少し、かつてのにぎわいが失われていることが分かります。

生きがいの場として

「出店者が激減した状況の中にあっても、朝市は私たちにとっての生きがいです。それは、朝市が物の売り買いというだけでなく、出店者とお客さん、お客さん同士、出店者同士といったつながりの場となっているからです。お客さんが来てくれる限り、朝市は存続させていきたいです」と朝市出荷組合長の牧野千代美さんは語ります。

85歳を迎えた現在でもほぼ毎日出店している中村美智子さんは「朝市に出店すること

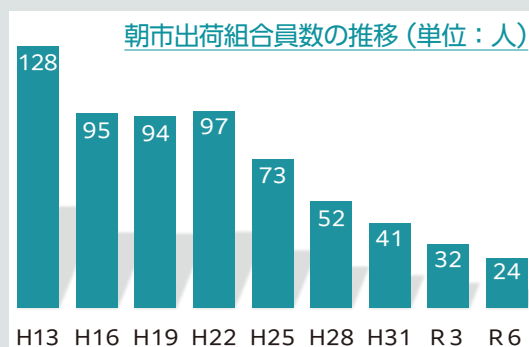
が、健康な体を維持する糧になっています。野菜や花を育て、店に並べ、そしてお客さんと話ができるだけで楽しいんです」と朝市への思いを話します。

出店者の一人の永田信子さんは「朝市に来ることを毎日の楽しみにしているお客さんはたくさんいます。90歳を超えた常連のお客さんなんて、その人にとっても朝市に来ることが、元気の源なのだと思いますよ」と朝市の日常を教えてくださいました。

バトンをつなぐ

出店者の皆さんは、昔と大きく変わってしまった現状に寂しい思いを抱えています。が、各々の大切な思いを胸に抱き出店しています。少しでも力になりたいと、趣味の延長で、手作りの小物を販売し始めた新たな出店者もいます。こうした一人一人の生きがいや思いやりの気持ちが集まり、400年以上続くバトンを今日もつないでいます。

⑧お客さんとの触れ合いは出店者にとって大切な生きがい／⑨地元の小学生も授業の一環で朝市に参加。11月に自分たちで作った野菜を出品予定／⑩揺れるのぼりの下、今日も朝市が開かれています



市民の台所として、かつては通りの両側に出店者がずらりと並び、大野弁が飛び交っていました。後継者不足により、組合員数が年々減少しています。実際の出店者はグラフ内の数字より少ない状態です。高齢化もあり、今後もさらに減少することが予想されます。



七間通りから大野を盛り上げる会

七間大盛^{だいせい}会

七間通りに店舗を構える10人の若いメンバーで活動している団体です。なんと「市」の文化を残したいと、フリーマーケット型のイベント「七間楽市」を平成29年から開催しています。奮闘する皆さんに、その思いを聞きました。



山元新さん
山元醤油味噌醸造場



会長 南部拓也さん
(株)南部酒造場



尾山勝也さん
妻がEDISON CAFEを経営



副会長 高柳亮太さん
パナデリア

守るために、変えることに挑戦する

山元新さん

七間朝市の長い歴史を見てみると、江戸時代は3、4日ごとの開催だったことや、明治時代までは昼市だったことなど、今までもその時代に受け入れられる「市」として形を変えてきたようです。

野菜や花の販売を中心に毎朝出店されている今の形も歴史の中の一つだと思うと、今が過渡期なのかもしれません。手作りの小物を販売したり、新しいことに挑戦してみたい人は、朝市はもちろん、ぜひ楽市の方も活用してほしいです。

少しずつ関わりの輪を広げていきたい

尾山勝也さん

一人でも多く、七間通りに関わる人を増やしていきたいと思っています。皆さんには、まずは気軽な気持ちで通りを歩いてもらいたいです。新しい店などもオープンしているので、新たな出会いがきっとあると思います。

楽市の開催は8年目を迎えて少しずつ定着し、出店者の皆さん同士のつながりも生まれているようです。少しずつ七間通りとの関わりの輪が広がっていて嬉しく感じます。

商店街の文化の中に「市」はかかせない

会長 南部拓也さん

「物を売る通り」としての商店街の文化を絶やしてはならない」という思いを、七間通りに店を構える一人として強く心に抱いています。その文化の代表ともいえる朝市がなくなってしまうのは、一市民として悲しいです。

七間楽市は最初は年一回の開催でしたが、今年は4～11月の毎月開催を計画しました。「市」としての文化を継承していくために、できる限り小まめに定期開催していきたいと思っています。

課題は大きいですが、やるからには楽しく

副会長 高柳亮太さん

商店街を盛り上げるという大きな課題に、何から始めてよいか悩みました。ですが、行動してみないと分からないですし、失敗しても落ち込まず、次につなげようという姿勢で活動しています。

楽市では、まずは運営側の自分たちが楽しむことを大切にしています。その雰囲気伝えることが、来場してくれた人たちに楽しんでもらう一番の方法だと思います。また、楽市がきっかけとなって、可能な範囲で朝市に出店する人が増えてほしいです。



佐々木沙織さん
キイロイハコ



中村和幸さん
カンケイ商店



五十嵐弘泰さん
三友靴店



山本響さん
まちの印刷室



永井杜弥さん
イチナナバル



白井朗さん
白井歯科医院

「市」に新しい風が吹く

8月と9月に訪れた七間楽市には、ハンドメイド雑貨や木工品、キッチンカー、珍しい品種の野菜など、個性豊かな品が並んでいました。

県外からの来場者は「朝市で地元の野菜などを購入して、楽市で雑貨や食べ歩きできる物を買いました。昔ながらの風情と、今どきの雰囲気の両方が味わえて楽しかったです」と2つの「市」を満喫していました。

市内外から集まった出店者は「お客さんには、城下町や石畳の雰囲気を楽しみながら、のんびり買い物を楽しんでもらいたい」「大野の人たちと関わるきっかけが作れたら」と思い、市外から出店している」と話し、来場者との交流を楽しんでいました。肩の力を抜いて笑顔で来場者と会話している姿からは、どこか七間朝市の出店者の皆さんと同じ雰囲気を感じました。



▲七間楽市の
詳細はこちら

七間楽市



灯り始める 若き挑戦

雨の日も風の日も店を出し続けてきた朝市の出店者の皆さんや、毎月の七間楽市の開催に向けて試行錯誤を繰り返す七間大盛会の皆さんが、「市」のバトンを放さず今日までつないできました。

そのバトンを自分も握ろうと手を伸ばす一人の青年に出会いました。彼は大好きな地元の風景が変わってしまうことにもどかしさを感じ、新たな挑戦を始めました。その胸に抱く若く熱い思いに迫りました。

「大好きな地元のために、まずは挑戦してみようと思っただんです」と話すのは、本市在住で高志高等学校1年生の竹田壮佑さんです。

竹田さんは、今年3月の七間朝市開きの際に、同じく本市在住の友人3人と共に朝市に出店しました。当日は大野の特産品などを描いたシールや、友人への呼び掛けで集めた、各家庭で不要となった日用雑貨などを販売しました。思い描く先には、単に出店するだけではなく、朝市の存続を目標とした挑戦も込められています。

出店のきっかけとなったのは、中学2年生のときの探求学習で、久々に訪れた七間朝市の現状を目の当たりにしたことだったそうです。「僕が小学生だった5年くらい前でも、毎日10店舗くらいは出店されていたと覚えてます。それが、今では平日で2、3店舗。コロナ禍の影響を受けて変わったその姿を見て、心が痛みました」と竹田さんは思いを語ります。

何か自分ができることはなにかと考え始め、着目したの

が「若者の視点を朝市に取り入れられないか」ということでした。出店者の皆さんの姿勢を尊重しつつ、そこに自分たちと同世代の若者の視点を取り入れることで、今の時代に受け入れられる「市」の形にしていこうというものです。「僕たちの世代からは、若者の視点や提案で協力できると思います。また、僕たちにとっても出店者の皆さんから、商売のこつや、お客さんとの接し方などを学べるといった、相乗効果が期待できると考えています。今回の出店のときも、実際に朝市

の出店者の皆さんと話す機会がありました。普段は聞けない話なども聞けて、純粋に心から楽しかったです」と思い描く目標を話します。竹田さんのこの言葉からは大盛会の皆さんの考えに通ずるところを感じました。

この目標を少しずつ形にするため、今後は同世代が朝市に関わりたくなるような仕掛けづくりや、大野高等学校や奥越明成高等学校の生徒の中で、自分の思いに共感してくれる仲間を募っていききたいということです。

「出店のときは大盛会の皆

さんにも大変お世話になりました。こういった人の温かさや助け合いのあふれている大野市が大好きです」と語る、若き大野人の挑戦が幕を開けようとしています。



朝市開きでは本市在住の友人と共に、会場に声を響かせました

福井県立高志高等学校 1年

竹田壮佑さん

今後のイベント情報など

問 七間商店街事務局

(☎69・9520)

※平日の午前中のみ

七間楽市(今後の開催日時)

10月13日回、11月10日回

各日午前8時～午後3時

第39回三大朝市物産まつり

日時 10月26日回

午前9時～午後3時

10月27日回

午前8時～午後2時

内容

- ・七間朝市約15店舗出店
- ・飛騨高山、函館朝市、三国港の各物産市
- ・七間茶屋でおろしそばや秋の味覚の天ぷらを提供

七間ハロウィン

～おかしな商店街～

日時 11月2日回

午後4時～4時30分

11月3日回文化の日

午前9時～午後3時

内容

- ・ツリーデコレーション(2日)
- ・お菓子配り(3日)
- ・ウォークラリー(3日)
- ・仮装パレード(3日) など

※詳しくはイベント本部で確認してください

朝市無料出店体験日

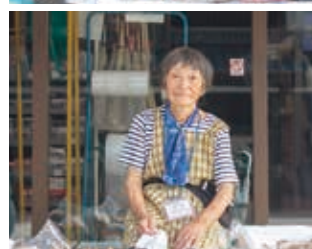
朝市に出店してみたい、体験してみたい人を対象に、無料で出店ができます。

日時 11月10日回、17日回

各日午前8時～11時

申込方法 電話で申し込む

申込締切 11月8日回



急速に変化する現代では、全国各地で文化の継承が難しくなっています。しかし、これまでも時代の変化に苦悩しながら、その波を乗り越えようと行動した先人たちがいたからこそ、本市の原風景に朝市があるのだと思います。

今回の取材中、朝市の出店者の皆さんがそろって口にする言葉がありました。それは「飾らず、ありのままの姿を伝えてほしい」という言葉でした。今回の特集ではできる限りその現状を取り上げました。

朝市の「今」は決して悲観的なものばかりではなかったと思います。朝市が生きがいとなっている出店者や

客さん、新しい「市」の形を模索する七間大盛會、挑戦を始めた竹田さん。立ちほかる壁は大きいですが、「なんとかしたい」と前を向いて歩んでいます。

今日も出店者が新鮮な野菜やきれいな花などを並べて、通りを彩っています。朝市の出店者の皆さんは、「来てくれる人がいる限り店を続けたい」と思いを語ってくれました。だからこそ、まずはその市民の台所に足を運んでみませんか。それは一見ささいなことかもしれませんが、400年のその先へつながる、大切な一歩になると思います。

通りを歩くことから始めてみませんか

第45回 九頭竜

紅葉まつり



日時 10月26日(土)、27日(日) 各日午前9時～午後3時

場所 九頭竜国民休養地

内容 ●紅葉市場・交流市場

- ・旬の野菜や、そばやお菓子をはじめとした本市のグルメの販売
- ・友好交流市の愛知県岩倉市の名古屋コーチンや、近隣自治体の旬の味覚の販売

●紅葉ステージ

ダンス、太鼓、来場者参加イベントなど

●遊び広場

縁日、木工体験、謎解きなど

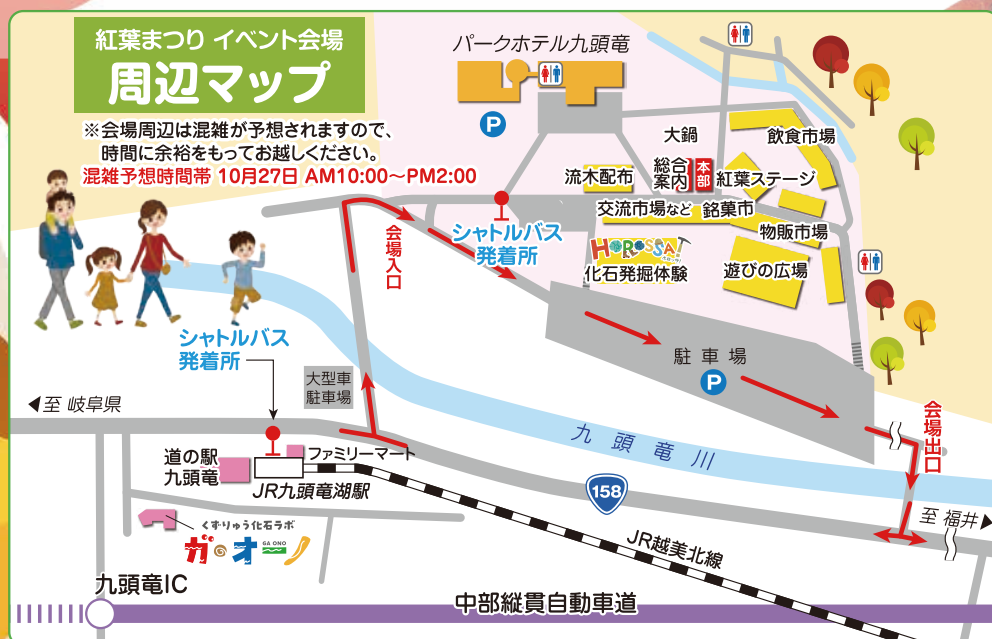
●九頭竜うまいもん鍋

1杯300円 各日約400食(なくなり次第終了)

●その他

- ・長野発電所見学会
- ・ダムの流れ木無料配布

その他 越美北線の臨時列車を運行します。詳しくは市ホームページで確認してください



問 九頭竜まつり実行委員会
(観光交流課内
☎66・1111)



▲詳しくはこちら

星空保護区[®]認定から1年

日本一美しい星空をこれからも

問 観光交流課（64・4817）

☆認定による主な効果

昨年8月21日に南六呂師エリアが星空保護区に認定されてから1年がたちました。認定後は、新聞やテレビなどに取り上げられ、南六呂師エリアの星空の美しさが広く知られるようになりました。

市内の事業者による、星や星空をモチーフにした商品の販売や体験メニューの提供、星空観望スポットの新設など、星空に関連した動きが活発になっています。



星のまち鑑賞会



星空を表現した水まんじゅう

- ・南六呂師エリアの星空を見に来る天文愛好家や観光客、ツアー客などが増えました。ミルク工房奥越前で開催している「星空ハンモック」の参加者が、前年比2倍の約2000人になりました
- ・令和6年4月～8月の南六呂師エリア周辺施設の利用者が、前年の同時期と比べて増加しました
- ・新聞やテレビ、雑誌などに本市の星空に関連した記事が掲載される回数が多くなりました
- ・市内の事業者が星空に関連した商品を続々と販売し、道の駅「越前おおの 荒島の郷」では、星空商品のコーナーが設置されました
- ・地元天文クラブのメンバーを中心に、毎月市役所駐車場で開催されている「星のまち鑑賞会」に、市民や天文愛好家が多く集うようになりました

☆主な取り組み(認定後からこれまで)

- 第35回「星空の街・あおぞらの街」全国大会を開催
令和5年10月8日、9日に、高円宮妃殿下をお招きし、本市の美しい星空や豊かな自然を全国に発信しました。
- 「スターポイントプロジェクト」を開始
本市の星空がいつまでも美しく見える未来にするために、阪谷小学校の児童が、市民に星空環境を守るための意識啓発を行う「スターポイントプロジェクト」を開始しました。
- 国際ダークスカイ・ウィーク(4月2日～8日)にパネル展を開催
国内星空保護区認定地の取り組み状況や観光情報、光害対策の普及啓発のパネル展を開催しました。
- 星空観望の新たなスポットが誕生
8月24日、スターランドさかだにに、土曜日限定の星空講座などを継続しています。
- 福井工業大学との連携を継続
南六呂師エリアの夜空の明るさ調査や、光害対策の出前講座などを継続しています。

本市には美しい星空が広がっています。私たちにとっては見慣れた星空ですが、天の川を見ることができる人は、国内で約3割といわれています。

いつまでもこの美しい星空の下で住み続けることができるよう、これからも星空の保護に取り組みます。



星空案内カフェ「ほしのいと」

- 「日本初」国内星空保護区認定地と同時星空観望会を開催
9月3日に、国内の星空保護区認定地である東京都神津島村、岡山県井原市と連携して星空観望会を開催しました。



公共交通機関に関するお知らせ

☎ 交通住宅まちづくり課 (64・4815)

京福バス大野線のダイヤとルートが変わります

内容

①平日は22便→15便になり、そのうち日中の4便が済生会病院発着になります

②㊦祝日は22便→8便になります

③のぼり(ヴィオ発福井駅着)の終点は、福井駅西口から福井駅東口に変わります

※詳細は、ホームページを確認してください

変更日 10月1日㊦



▲詳しくはこちら

乗合タクシーの会員になりませんか

対象 乗合タクシーの停留所がある行政区(郊外のみ)に在住の人

会員特典 自宅まで送迎します。また、75歳以上の人などに、自宅の場所に応じて最大で1万円分のタクシー利用助成券を配布します

※詳細は、ホームページを確認してください



▲詳しくはこちら

北陸DC期間中 越美北線臨時列車が運行します

北陸DC(ディステイネーションキャンペーン)※期間中に、越美北線の臨時列車が運行します。

※JR、自治体、旅行会社が一体となり実施する、福井・石川・富山を目的地とした観光誘客キャンペーンを重点的に行います

運行日 10月、11月の㊦祝日

※具体的な運行日はホームページを確認してください

運行区間 福井駅ー越前大野駅間

運行時間

・福井駅発午前10時25分→越前大野駅着午前11時22分
・越前大野駅発午後1時50分→福井駅着午後2時46分



▲詳しくはこちら



重要なインフラである公共交通機関を未来に残すためには、皆さんに利用してもらうことが必須です。お出かけには、環境にやさしい公共交通機関を利用しましょう。

買い物券プレゼント!

公共交通機関に乗ってイベントに行こう!



越美北線やバスに乗って次のイベントに来場した人へ、会場で使える500円の買い物券を配布します。普段は公共交通機関を利用しない人も、このお得な機会にぜひ利用してください。

☎ 越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会・大野市 (64・4815)

イベント(場所)	配布日時	配布場所	対象者	配布人数
重機パーク 産業と食彩フェア (結とぴあ、市役所駐車場)	10月19日㊦、20日㊦ 各日午前9時～午後3時	産業と食彩フェア内 「越美北線と乗合バス に乗る運動を進める 会×ETSUMI」ブース ※1	越美北線やまちなか循環バス、京福バス大野線、京福バス勝山大野線、市営バス和泉大野線を利用し会場へ来た人※2	・越美北線利用者 100人(先着) ・バス利用者 100人(先着)
水の駅わくわく体験フェスタ(一乗谷あさくら水の駅)	11月2日㊦ 午前9時30分～午後3時	越美北線一乗谷駅と 京福バスあさくら水の駅	・越美北線を利用し、越美北線一乗谷駅で降車した人 ・京福バスを利用し、京福バスあさくら水の駅で降車した人※3	150人(先着)

※1 乗ってきた公共交通機関の車両内の写真をブースで提示してください

※2、3 対象となる運行便など、詳細はホームページを確認してください



※2の詳細はこちら▲



※3の詳細はこちら▲



ミニ北陸新幹線



▲詳しくはこちら



恐竜ラッピング車両

問 越美北線と乗合バスに乗り乗る運動を進める会（交通住宅まちづくり課内 64・4815）

参加料 無料
場所 越前大野駅

※天候などにより開催時刻の変更や中止となる場合があります

※ミニ北陸新幹線の乗車体験は午前10時～正午、午後1時～3時

※ミニ北陸新幹線の乗車体験は午前10時～正午、午後1時～3時

日時 11月3日（文化の日）午前10時～午後3時

また全国のかわいい駅弁を販売します。子どもが喜ぶ、さまざまな新幹線車両駅弁も用意しています。

ミニ北陸新幹線の乗車体験や越美北線の恐竜ラッピング車両の見学会を行います。来場者に、越美北線ラッピング車両のトレーディングカードをプレゼントします。

子鉄集まれ！ ふれあいパーク初開催



電話相談

相談先	受け付け
10月1日より新たに開始 「#7119」 おとなの救急医療電話相談	24時間365日
10月5日より時間拡充 「#8000」 こどもの救急医療電話相談	平日 午後7時～翌朝午前9時 土 午後1時～翌朝午前9時 日祝 午前9時～翌朝午前9時

問 健康長寿課（65・7333）

急病時には慌てず落ち着いて行動してください。

また、急いで受診したいが、かかりつけ医や近所の医院で受診できない夜間や休日には、次の医療機関で診療を受けられます。

急病時には慌てず落ち着いて行動してください。

また、急いで受診したいが、かかりつけ医や近所の医院で受診できない夜間や休日には、次の医療機関で診療を受けられます。

また、急いで受診したいが、かかりつけ医や近所の医院で受診できない夜間や休日には、次の医療機関で診療を受けられます。

また、急いで受診したいが、かかりつけ医や近所の医院で受診できない夜間や休日には、次の医療機関で診療を受けられます。

また、急いで受診したいが、かかりつけ医や近所の医院で受診できない夜間や休日には、次の医療機関で診療を受けられます。

夜間や休日の急病時



休日・救急診療

相談先	診療科	受け付け
大野市休日急患診療所 ☎65・8999	日 内科・外科 日祝 内科・外科・小児科	日 午後1時～5時、午後6時～9時 日祝 午前9時～正午、午後1時～9時
福井県子ども急患センター （福井市城東四丁目14-30） ☎0776・26・8800	小児科	月～日 午後7時～11時 日祝 午前9時～午後11時
小児救急夜間輪番病院	小児科	※以下時間は全て午後11時～翌朝午前8時 ※祝日も以下の曜日に応じた病院が当番病院です 日 福井赤十字病院（福井市月見二丁目4-1） ☎0776・36・3630 日 福井県済生会病院（福井市和田中町舟橋7-1） ☎0776・23・1111 日 福井県立病院（福井市四ツ井二丁目8-1） ☎0776・54・5151 日 福井大学医学部附属病院（永平寺町松岡下合月23-3） ☎0776・61・3111
福井市休日急患歯科診療所 （福井市大願寺三丁目4-1） ☎0776・26・8468	歯科	日祝 午前9時～正午、午後1時～5時



◀詳しくはこちら

救急車を呼ぶか迷ったときは…
かかりつけ医が診療していないときは…



令和7年度 保育所・認定こども園への 新規入園申し込みを受け付けます

入園には認定が必要です

子どもの年齢や保護者の就労状況などにより、認定区分が異なります。

認定区分	対象
1号認定(教育) 認定こども園のみ	保護者の就労の有無に関わらず、教育を希望する満3歳以上の児童 利用時間 各園で定める時間(8時間未満) 保育料 無料
2号認定(保育) 保育所・認定こども園	保護者の就労などにより、保育を必要とする満3歳以上の児童 利用時間 最大11時間または8時間 保育料 無料。ただし満3歳になる年度末までは3号認定と同じ
3号認定(保育) 保育所・認定こども園	保護者の就労などにより、保育を必要とする満3歳未満の児童 利用時間 最大11時間または8時間 保育料 市民税額に応じて市が決定。第2子以降は無料

申し込みまでの流れ

入園
申し込み

園と面談

園の見学

入園の申し込み手続きは次のとおりです。
申込期間 10月1日(火)～11月30日(土)
※先着順ではありません。期間を過ぎても申し込みますが、期間内に申し込んだ人を優先して入園を決定します。
申込方法 オンラインで受け付けますので、県電子申請サービスから申し込んでください。インターネット環境がないなど、やむを得ない場合は、書面での申し込みを受け付けます。詳しくはこども支援課や各園で配布する「入園のご案内」を見てください。ホームページでも閲覧できます。
必要書類 2・3号認定を希望する場合、就労証明書など、保育を必要とする状況が分かる書類(PDFなどの電子データ可)を準備してください。様式はホームページからダウンロードしてください。

各園で見学会を行います。見学会は予約制です。
見学期間 10月21日(月)～25日(金)
※期間内の見学が難しい場合は、各園に相談してください。
見学予約 各園に直接電話で予約してください。
見学会 ホームページで各園の紹介動画を視聴できます！

区分		施設名	電話	所在地	定員	
					1号	2・3号
保育所	公立	あかね保育園	66・5273	水落町7-24	—	70人
		荒島保育園	66・4257	上野42-17	—	30人
		阪谷保育園	67・1070	伏石11-14	—	20人
認定こども園 (幼保連携型)	私立	誓念寺こども園(※)	65・6167	中荒井町二丁目824	10人	120人
		誓念寺中野こども園	65・6166	東中野二丁目603	10人	130人
		認定こども園 いなやまこども園	66・0038	篠座94-39	3人	30人
		認定こども園 いなほこども園	66・1740	春日二丁目16-5	10人	100人
		開成こども園	65・1103	新庄5-15-2	3人	130人
		認定こども園 篠座こども園	65・6570	篠座74-32	3人	80人
		上庄こども園	64・1217	稲郷43-5	3人	87人
		亀山こども園	65・1104	水落町3-35	3人	74人
認定こども園 (幼稚園型)	私立	いとよミライエこども園	66・3841	中挾一丁目1001	3人	90人
		認定こども園 大野幼稚園	65・3936	明倫町7-18	25人	10人
地域型保育 事業所	公立	和泉保育園	78・2812	朝日34-3	—	9人

定員は令和6年9月1日時点です。定員数が増える場合があります。

※誓念寺こども園では休日保育を行います(他園の園児も利用可)

問
こども支援課
(☎ 64・5140)



▲入園の案内や
園の紹介はこちら

秋・冬

年代別 予防接種情報

健康長寿課 (65・7333)

1歳～中学3年生の人

インフルエンザ予防接種費用の助成を開始

子どものインフルエンザ予防接種にかかる保護者の負担軽減と、インフルエンザの感染拡大防止、重症化予防のため、費用の一部を助成します。インフルエンザ予防接種は任意接種です。必ず医師の指示に従ってください。

期間 10月1日～令和7年1月31日

対象 本市に住所があり、接種時に満1歳～中学3年生

助成額 1回当たり1000円

※12歳までの子どもは年2回まで、13歳以上の子どもは年1回まで

※以下の協力医療機関で接種した場合、会計時に1000円差し引きします

平成9～20年度生まれの女性

無料のHPVワクチン接種の期限が迫っています

HPVワクチンの予防接種を無料で受けられるのは令和7年3月31日月末までです。

65歳以上の人

※60～64歳の人で、心臓、肝臓、呼吸器、免疫機能に障害がある人も対象

インフルエンザ、新型コロナウイルス予防接種費用の助成を開始

予防接種により重症化を防ぐことができます。予防接種の接種時に満65歳以上の人は、市の助成が受けられます。個人通知はしないので、希望者は医療機関に予約して接種してください。

期間 10月1日～令和7年1月31日

自己負担額 ※次の額は接種費用から助成額を引いた額です

・インフルエンザ 1830円

・新型コロナウイルス 3000円

※市の助成が受けられるのは年に1回まで

昭和37～53年度生まれの男性

無料の風しん抗体検査・予防接種の期限が迫っています

風しんの抗体検査と予防接種を無料で受けられるのは令和7年2月28日金までです。

※無料で受けるには、既に送付しているクーポン券が必要です

協力医療機関一覧

※実施しているものに「○」

病院名	所在地	電話番号	インフルエンザ		新型コロナワクチン	HPV	風しん抗体検査 予防接種
			高齢者	子ども			
阿部病院	元町8-6	66・2230	○	○	○		○
清翔会 尾崎病院	明倫町11-2	66・3067	○		○		○
尾崎整形外科	明倫町10-7	65・2570	○		○		
高井医院	稲郷52-6-2	64・1128	○	○	○	○	○
栃木産婦人科医院	春日92-6	66・2502	○	○	○	○	○
鳥山医院	有明町4-18	66・0230	○	○			
広岡クリニック	陽明町二丁目201	66・1100	○		○	○	○
広瀬病院	城町10-1	66・3510	○	○	○	○	○
弘川医院	陽明町二丁目101	66・5110	○	○	○	○	○
松田医院	国時町1101	65・7002	○	○	○	○	○
キラキラ会 松田病院	要町1-13	66・3238	○	○	○	○	○
葉袋クリニック	春日一丁目12-6	65・6800	○	○	○	○	○
山川医院	伏石12-46	67・1313	○	○	○	○	○
大野市和泉診療所	朝日23-11	78・2650	○	○	○	○	○



予防接種の救済制度

予防接種の副反応による健康被害は、極めてまれですが、発生する可能性もあります。予防接種法に基づく予防接種を受けて健康被害が生じた場合、市が給付を行う救済制度があります。(※予防接種と健康被害との因果関係を国が認定した場合)救済の申請に必要となる手続きなどについては、予防接種を受けたときに住民票を登録していた市区町村に相談してください。

おいしく食べて減らす「食品ロス」

◆食品ロスの現状

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。令和4年度の日本の年間食品ロスは472万トで、1人1日当たりおにぎり1個分に相当します。

本市の燃やせるごみの約10割は食品ロスです。食品ロスを減らすため、私たち一人一人ができることから始めましょう。

◆食品ロス削減のためにできること

①買い物時の心掛け

- ・冷蔵庫の中身をチェックしてから買い物する
- ・必要な分だけ購入し、まとめ買いは控える
- ・家庭での利用予定に照らし合わせて消費期限や賞味期限を確認してから購入する
- ・すぐ食べる食品は、商品棚の手前から取る「てまえどり」を心掛ける

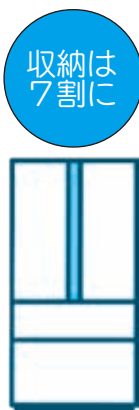


②調理時の工夫

- ・食べ切れる量だけ調理する
- ・残った料理は新しいメニューにリメイクする
- ・食品に記載された保存方法に従って適切に保存する

③冷蔵庫の整理整頓

- ・冷蔵庫への収納は7割に控える（賞味期限切れのものに気付くことができない。冷気が回り省エネにつながる）
- ・かごやトレイで分類して取り出しやすくする
- ・冷凍保存を活用する
- ・葉物野菜は立てて収納する（鮮度を保つことができる）



④外食時の心掛け

- ・食品ロス削減に取り組む店を選ぶ
- ・小盛りメニューやハーフサイズを活用する
- ・残った料理は店と相談して持ち帰る

⑤宴会での工夫

- ・乾杯後30分と終了10分前は、料理を楽しむ時間にします
- ・幹事は、参加者に食べ切りを呼び掛ける

料理を楽しむ時間を



◆おいしいふくい食べきり運動

県では、地元の食材を使っておいしい料理を作り、それを食べ切る運動を展開しています。おいしく食べ食品ロスを減らしましょう。

詳しい情報は県ホームページをご覧ください。

問 環境・水循環課（☎64・4828）



▲詳しくはこちら



節水にご協力ください

地下水位は例年9月ごろから下がり始め、12月ごろまで下がり続けます。限りある資源である地下水を守るため、節水にご協力ください。

節水のポイント

- ・蛇口を小まめに閉める
 - ・洗濯物はある程度ためてまとめて洗う
 - ・シャワーを小まめに止める
- ※詳しくは節水ハンドブックを確認してください



▲節水ハンドブック

節水シャワーヘッドなどの購入費を助成

対象機器 浴室用の節水シャワーヘッド、節水水栓、節湯水栓

対象者 次の要件を全て満たす人
・市内に住所がある人または市内に事業所などがある法人

・市税に滞納がない
・助成対象機器の購入に当たり、他の助成を受けていない

助成金額 購入額の2分の1（1個当たりの上限3000円）

問 環境・水循環課

（☎64・4828）



▲詳しくはこちら

指定学校の変更には申請が必要です

小中学校の校区は、入学する子どもの住所で決まり、入学する年の1月下旬に入学予定校(指定学校)をお知らせしています。

次のいずれかに当てはまる場合、保護者は指定学校変更の申請ができます。変更が許可される期間や条件、申請に必要な書類は変更の理由によって違いますので、詳しくは問い合わせてください。

※通学区の変更に伴い、令和8年4月から有終西小学校区の卒業生の進学先は、全て開成中学校になります

◆転居予定

入学後に引っ越すことが決まっているため、引っ越し先の校区にある学校に通学を希望するとき

◆途中転居

入学後に引っ越して校区が変更になる場合で、元の学校に通学を希望するとき

◆昼間留守家庭(小学生のみ)

昼間に保護者がいない家庭で、預かり先や保護者の勤務先がある校区の学校に通学を希望するとき

◆身体的理由

病気などの身体的理由で、通学や通院に配慮する必要があるとき

◆教育上の配慮

不登校やいじめなどが原因で、学校を変更することを教育委員会が適当であると認めるとき

◆通学距離

通学距離が小学校でおおむね2^キ、中学校でおおむね4^キを超えている場合で、学校の変更により大幅に通学距離が短縮されるとき

◆その他

指定学校の変更の必要性を教育委員会が認めたとき

必ず受診を！就学時健康診断

来春、小学校に入学する人には、10月上旬までに就学時健康診断の案内を送ります。健康診断は指定された学校で受診してください。

問 教育総務課

(64・4827)



旧ぶなの木台コミュニティセンターを一般競争入札で売ります

対象物件

所在地 貝皿17字11番1

・建物 木造平屋建127・29平方

方(廃止前用途:集会所)

・土地 登記面積1680平方(現況地目:宅地)

・入札スケジュール(いずれも土曜日は除く)

・10月1日(火)～21日(月) 入札参加要

領の配布

入札参加要領は地域文化課(市役所2階(24番窓口))で配布するほか、ホームページからもダウンロードできます

・10月7日(金)～11日(金) 質問受け付け

建物の状態などを説明します

・10月15日(火)～22日(火) 入札参加申し込み

入札に参加する資格があるか確認します

・11月11日(月)～14日(木) 入札期間

郵送または持参により入札を受け付けます。入札保証金の納入が必須です

問 地域文化課 (64・4834)

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

▲詳しくはこちら

給付金の申請はお済みですか？

「定額減税補足給付金」と「新たな低所得世帯への物価高騰くらし応援給付金」の申請期限が迫っています。いずれの給付金も、対象と見込まれる人や世帯へ、8月下旬に通知を送付しています。「確認書」や「申請書兼請求書」が届いた人などは申請が必要です。必要事項を記入し、必要書類を添付して、同封の返信用封筒で返送してください。

申請期限 10月31日(金)

※期限を過ぎた場合、給付を辞退したものと取り扱います

その他 ・申請から振り込みまで

1～2カ月程度かかります

・修正申告により給付金の対象となる人は申請が必要です

・それぞれの給付金の概要は、広報

おの8月号かホームページで確認してください

問 市給付金コールセンター(福祉課内) 64・4217 平日午前

9時～午後5時

▲定額減税補足給付金について詳しくはこちら

▲新たな低所得世帯への物価高騰くらし応援給付金について詳しくはこちら

▲新たな低所得世帯への物価高騰くらし応援給付金について詳しくはこちら

▲新たな低所得世帯への物価高騰くらし応援給付金について詳しくはこちら

▲新たな低所得世帯への物価高騰くらし応援給付金について詳しくはこちら

▲新たな低所得世帯への物価高騰くらし応援給付金について詳しくはこちら

▲新たな低所得世帯への物価高騰くらし応援給付金について詳しくはこちら

▲新たな低所得世帯への物価高騰くらし応援給付金について詳しくはこちら

▲新たな低所得世帯への物価高騰くらし応援給付金について詳しくはこちら

▲新たな低所得世帯への物価高騰くらし応援給付金について詳しくはこちら

▲新たな低所得世帯への物価高騰くらし応援給付金について詳しくはこちら

▲新たな低所得世帯への物価高騰くらし応援給付金について詳しくはこちら

休日急患診療 (☎65・8999)

【診療科目】
小児科(日・祝日のみ)・内科・外科
【診療時間】
土曜日 午後1～5、午後6～9(5・12・19・26日)
日・祝日など 午前9～正午、午後1～9(6・13・14・20・27日)

休館日

金	土
4	5 心のおやつ時間 午後2:30～3 図書館 あそぼう百人一首 午後3～4 図書館
11	12 マイナンバーカード休日交付・ 更新窓口(要予約)☎64・4246 午前9～正午 心のおやつ時間 午後2:30～3 図書館
18	19 うきうき！ボードゲームクラブ 午前10:30～11:30 図書館 自然あそび 午後2:30～3:30 図書館
25	26 だっこでぎゅの会 0歳組 午前10:30～10:50 図書館 1,2歳組 午前11～11:30 図書館 心のおやつ時間 午後2:30～3 図書館 おはなし会 午後3～3:30 図書館

今月は後期高齢者医療保険料(普通徴収)の納付月です！

・後期高齢者医療保険料(普通徴収) 第4期

◆納期限 10月31日(木)

※普通徴収は、年金から保険料が天引きされない方が対象です。市発行の納付書で、金融機関などで個別に納めてください

施設名	休館日
学びの里「めいりん」	なし
公民館	14日
図書館	7・20・21・28日
本願清水イトヨの里	7・15・21・28日
水のがっこう	なし
歴史博物館	なし
民俗資料館	7・15・21・28日
越前大野城	なし
くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ	7・15・21・28日
HOROSSA!	7・15・21・28日
武家屋敷旧内山家	なし
武家屋敷旧田村家	なし
文化会館	7・21・28日
COCONOアートプレイス	7・15・21・28日
B&G海洋センター	7・14・15・21・28日
エキサイト広場	2・9・15・16・23・30日
あっ宝んど	8日
うらら館	7・15・21・28日
平成の湯	1・8・15・22・29日
結とぴあ(有終会館)	なし



各種検診日

予約・問い合わせ先
(☎64・4147 平日午前9時～午後5時)

【生活習慣病健診・肺がん検診・胃がん検診・前立腺がん検診・肝炎検査・ピロリ菌検査・風しん抗体検査】

実施日	時間	会場
3日	午前8:30～10:30	富田公民館
4日	午前8:30～10:30	下庄公民館
27日	午前8:30～10:30	結とぴあ

【子宮頸がん検診・乳がん検診】

実施日	時間	会場
3日	午後1:15～2:15	富田公民館
4日	午後1:15～2:15	下庄公民館
27日	午前8:30～10:30	結とぴあ

【大腸がん検診】

①便容器配布	上記の各検診実施日時に各検診会場で配布
②料金の徴収	前払い(容器を受け取ったとき)
③便容器の提出	・大腸がん検診用冷蔵庫(結とぴあ)に緑の袋ごと投入 ・和泉診療所

【その他】

相談名	開催日	時間	会場・問い合わせ先
結婚相談・女性悩みごと相談 (レディース・トラブル・バスター)	2・9・16・26日	2日 午後6～8 ほか 午後1:30～3:30	結とぴあ ☎64・5140 (こども支援課)
年金相談 要予約	24日	午前10～午後3	大野商工会議所 ☎0776・23・4518 (福井年金事務所)
臨床心理士による教育相談 要予約	3・10・17・24・31日	午後1～5	青少年教育センター ☎66・7717
心配ごと相談	24日	午前9～正午	結とぴあ ☎65・8773 (社会福祉協議会)

【中小企業相談】(商工業に関する相談)

経営(商業) 要予約	8日	午後1～4	大野商工会議所 ☎66・1230 ※相談日の前日までに予約してください
労働 要予約	10日	午後1～4	
金融(日本政策金融公庫・中小企業事業) 要予約	11日	午後1～4	
法律 要予約	17日	午後1～4	
税務 要予約	22日	午後1～4	
事業承継 要予約	15日	午後1～4	
司法書士相談 要予約	開催しません		
夜間相談 要予約	3・17日	午後5～8	
和泉地区相談会 要予約	開催しません		
			(会場)和泉ふれあい会館

10月

かみなづき
神無月

市民カレンダー

日	月	火	水	木
■国民の祝日には国旗を掲げましょう ●印の行事は別の紙面で詳しく記載しています	今月の納税 市県民税 第3期分 国民健康保険税 第4期分 ◆納期限 10月31日(木) ★納税は、便利な口座振替をご利用ください	1 健康プラスデー 午前9～正午 保健センター(結とびあ内) 健康栄養相談(要予約)☎65・7333 午前10～11:30 保健センター(結とびあ内) 頭シャギーン&いきいきOH! 脳音読会 午前10:30～11:30 図書館	2	3 市民生活・統計課窓口業務延長 ～午後7 マイナンバーカード交付・更新 窓口延長(要予約)☎64・4246 ～午後7
6 心のおやつの時間 午前10:30～11 図書館	7	8	9	10 市民生活・統計課窓口業務延長 ～午後7 マイナンバーカード交付・更新 窓口延長(要予約)☎64・4246 ～午後7
13 マイナンバーカード休日交付・更新窓口(要予約)☎64・4246 午前9～正午 心のおやつの時間 午前10:30～11 図書館	14  スポーツの日 ●ごみの祝日受け入れ 心のおやつの時間 午前10:30～11 図書館	15	16 ●ビュークリーンおくえつ施設見学会(要予約)詳しくは18ページ	17 市民生活・統計課窓口業務延長 ～午後7 マイナンバーカード交付・更新 窓口延長(要予約)☎64・4246 ～午後7
20	21	22 1歳半児健康診査 午後1:10～1:40 保健センター(結とびあ内)	23 後期高齢者医療新規加入者説明会 午前9:30～10:30 結とびあ 絵本の部屋 午前10～正午 図書館 3歳児健康診査 午後1:10～1:40 保健センター(結とびあ内) 行政相談 特設巡回相談 午後1:30～3:30 富田公民館	24 市民生活・統計課窓口業務延長 ～午後7 マイナンバーカード交付・更新 窓口延長(要予約)☎64・4246 ～午後7
27 普通救命講習会(要予約) 午前9～正午 消防署☎64・4898 ●ごみの第4日曜日受け入れ 心のおやつの時間 午前10:30～11 図書館	28	29	30	31 市民生活・統計課窓口業務延長 ～午後7 マイナンバーカード交付・更新 窓口延長(要予約)☎64・4246 ～午後7

各種相談日

【保健関係】

相談名	開催日	時間	会場・問い合わせ先	
育児不安解消サポート事業 (お日さま広場) 要予約	17日	午前10～11:30	勝山市地域子育て支援センター	☎66・2076 (奥越健康福祉センター)
心の健康相談 要予約	2・16日	午後2～4	奥越健康福祉センター	☎66・2076
エイズ相談検査、B型・C型肝炎 相談検査・性感染症相談検査 要予約	1・15日	午前9～11		
女性相談	3・7・10・17・21・24・31日	午前9～午後5:15		
補聴器相談	21日	午前10～正午	結とびあ	☎64・5142 (福祉課)
ストレス相談 要予約	10日	午後2～4		

【法律関係】

人権相談・行政相談	3・17日	午後1:30～3:30	結とびあ	☎64・4820 (総務課)
行政相談	3日	午後2～4	和泉ふれあい会館	
無料登記相談	9日	午後1:30～4	結とびあ	
法律相談 要予約	10・24日	午後1～4	結とびあ	☎65・8773 (社会福祉協議会)